GUNMA PREFECTURAL LIBRARY 群馬県立図書館

新収蔵資料抄

Vol. 17
2022/ 5/20 発行
不定期刊

最寄り図書館に取り寄せ可

ファッションとテクノロジー

英国ヴィクトリア朝ミドルクラスの衣生活の変容

長谷部 寿女士／著　春風社　2021.11　本文 378p　22cm
383.15/ ネ 2Y　2022.03.03 受入　定価 4,500 円＋税

目 次

序　章　テクノロジーとファッションが結びついた時代
第Ⅰ部　ファッションアイテムにおけるテクノロジー
クリノリン、カシミア・ショール、バッスルと身体シルエットの変遷
第1章　1850 年代～ 1860 年代のクリノリン・スタイルに見るテクノロジー
第2章　19 世紀イギリスの模造品ショールのデザイン
フランスとインドからの影響
第3章　1870 年代～ 1880 年代のバッスルスタイルと装飾、ディスプレイ
第Ⅱ部　衣服製作過程におけるテクノロジーと、衣生活の変化
第4章　ミシン産業の進展とミドルクラスへの普及
第5章　パターンの進展と衣服製作の変容
第Ⅲ部　反装飾によるテクノロジー
パリ・モードの模倣から脱したオリジナリティの追及
第6章　唯美主義の有用性と個性の表現
ホイス夫人のマニュアル本におけるドレスの唯美性を通じて
第7章　衣服改革運動のなかのドレスにみるテクノロジー　針からハサミへ
終　章　手の経験から生まれる服装意識

資料概要

ビクトリア朝の女性ファッションは、ジゴ袖とくるぶしが見えるスカート丈のロマンチック・スタイルから、巨大なスカートのクリノリン・スタイル、そして臀部を強調したバッスル・スタイルへと変化した。さらには唯美主義の影響、衣服改革運動などの反装飾的な提案があり、女性は着飾る意識を変えていく。本書は当時の流行の担い手だったミドルクラスの女性の衣服への意識変化と、それをもたらしたテクノロジーの関わりを考察するものである。

例えばクリノリン・スタイルの流行には、大量かつ安価に鋼を作れる転炉法の製鉄技術が必要だった。巨大なスカートの形を保つには、女性はその下に何枚もの重いペチコートか、鯨骨や藤、木材で作られた骨組み、クリノリンをはく必要があったが、そのクリノリンが軽い鋼の針金の輪（フープ）をつないで作れるようになったのである。軽く柔軟性に富み動作の制限が少ないフープ・クリノリンは鉄道の発達と相まって女性の外出機会を増やすことにつながった。

クリノリン・ドレスと同時に流行し、着こなしがファッション化した多種多様な「模造品ショール」も、蒸気機関で動く銅板ローラー捺染機の考案（1825 年）、産地のペイズリーへのジャガード織機導入（1834年）、アニリン染料のモーブ（1856 年）やマゼンダ（1859 年）の開発が生み出した。「模造」とは、高価なインド産カシミア・ショールを模して英国で製造されたことを意味するが、色や柄、素材などの豊富なバリエーションで階級を超えて流行した。

この時代のエポック、既製服に関しても本書では多くの頁が割かれる。既製服の成立には、ミシンと型紙（パターン）という技術革新があり、新業態として興ったデパートもその普及を促した。

ミシンは英国では既製服の大量生産のためにまず服飾産業に導入されたが、60 年代に米国のシンガーが理想の主婦のたしなみとして販売し、家庭にも普及していったという。40 年代から続くファンシーワーク（部屋を飾る手工芸）の流行とミシンの先進イメージで、それまでお針子がする過酷な労働としか考えられていなかった裁縫が、ミドルクラス女性に生活の一部として受容されていった。本書では雑誌付録などでドレスの型紙が容易に入手できるようになったことも家庭裁縫の一般化の要因として紹介される。

こうした裁縫を通じた触覚的経験から、女性は衣服に快適さを求めるようになる。70 年代末からの唯美主義のブームや、芸術的で有用性や個性を生かすことの重要性を主張した唯美主義ドレスの提案（M・E・ホイス）、A・C・カーの「エステティックドレス」の商品化などが、この意識改革を後押しした。この意識改革は、女性がコルセットでウエストを締め上げるタイトレーシングのスタイルから決別する重要な契機ともなったのである。

著者紹介

長谷部寿女士（はせべ・すめじ）　日本女子大学ほか非常勤講師。博士（文学）。専門はイギリスを中心とした服飾文化。‘The Development of Patterns and The Transformation of Middle-Class Every Clothing in 19th Century Britain’, Journal of the International Association of Costume No. 56, 2020.、「ヴィクトリア朝イギリスの上層ミドルクラスにおける唯美主義ドレス―ホイス夫人のマニュアル本の影響について―」『服飾美学』第 64 号、2018 年、「19 世紀イギリスの模造品ショールのデザイン―フランスとインドのデザインからの影響―」『服飾文化学会誌』第 17 号、2017 年。

本紙は、県立図書館が新たに所蔵した資料（図書資料・視聴覚資料）から、ぜひご利用いただきたいものを厳選してご紹介するものです。これらの資料は、禁帯出資料を除き、最寄りの図書館に取り寄せできます。
なお、本紙の内容は Web にも掲載しています。ご覧の際は右の QR コードをご利用ください。
また、内容の誤り等、お気づきの点があればお知らせくださるようお願いいたします。

群馬県立図書館　〒371-0017 前橋市日吉町一丁目９－１　電話：027-231-3008